



こがねっ子



文責：[校長]

「2学期のスタート！」

遠く澄み渡った空と朝夕の肌に触れる風が秋の訪れを感じさせます…とはいえ、まだまだ残暑の厳しい日が続いています。長い夏休みを終え、学校に子ども達の元気な声が戻ってきました。今夏は3年ぶりに行動制限のない夏休みでした。県内では感染者の数が増加し、本校児童にもその影響があった休みとなりました。そのような中でも休み中の課題に頑張っており組んできた子ども達の頑張りに感動しました。また、休み中の出来事を友達や先生と楽しそうに話している姿に微笑ましさを感じました。

さあ、2学期の始まりです。いきいきとよくたくましい黄金っ子の育成に向け、2学期も職員一丸となって取り組んで参ります。

2学期頑張ること発表 <一部抜粋>

2年 児童 さん

- ・かん字をていねいにれんしゅうしておぼえたいです。
- ・ちょっとしたことで「イライラ」しないようにしたいです。
- ・ゆうり君(弟)にもやさしいことばをかけて、けんかしないようにしたいです。

5年 児童 さん

- ・勉強面では、算数をがんばる。すぐにふく習をしすす勉をがんばる。自分から手を挙げて発表し、説明をしていく。
- ・生活面では、自然教室で身に付けた協力を生かして、音楽交流会・学校祭などを成功させる。
- ・あいさつでは、自分から明るいあいさつを家族や地域の人、先生方や友達にしていく。



“優秀賞” おめでとう

第51回 山形県小中高等学校児童生徒作詞コンクール(山形県音楽教育連盟主催・山形県教育委員会・山形新聞後援)において、5年：児童 君が小学校作詞部門で“優秀賞”を受賞しました。優勝賞に選ばれた児童君の詩は、作曲コンクールの課題詩として県内全ての小中高等学校にて応募中です。どのようなメロディが付けられるか楽しみです。

「だんごむし」

カト

鶴岡市立黄金小学校
五年 児童

一 だんごむし

ころころころころ だんごむし
石のうらにいろ だんごむし
丸くなっている だんごむし
坂道ころけて だんごむし
近道通って だんごむし

明日はどこに 行こうかな

ころころころころ だんごむし

二 だんごむし

のろのろのろのろ だんごむし
地面を歩く だんごむし
足がたくさん だんごむし
歩道をわたって だんごむし
おうちに帰った だんごむし

ゆめの中でも歩いている

のろのろのろのろ だんごむし

カト

「全国学力・学習状況調査」の結果より

4月に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。国語は「漢字を正しく書く」ことはよくできていますが、「物語の登場人物の気持ちを捉えること」に課題が見られました。算数は「計算・数の処理」はよくできていましたが、「目的に応じてデータの特徴を捉える」ことに課題が見られました。理科は「用語や器具の使い方」は身につけているが、「結果を基に分析する力」に課題が見られました。調査対象は6年生ですが、出題内容は1～5年生で学習する内容となります。

特に課題が見られた算数の問題を紹介します。右は、「果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180ml入っているときの、飲み物の量の「①求め方」と「②答え」の両方を書く問題です。誤答で多かったのは①と②のうち片方しか記載がなかったことです。ほとんどの児童は正しい答えを求めることができました。ところが、求める式や言葉による説明が不足しているため誤答になっているようです。

日々の授業の中で、何が問われているのかを正確に見極め、変化の特徴を正しく記述できる力を身に付けていきます。

(4) かいとさんたちは、果汁の割合と果汁の量がわかっているとき、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、りんごの果汁の割合が30%で、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることにしました。

下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。

果汁の量が180mLのときの飲み物の量は、何mLになりますか。

180mLが30mLの何倍かをどのように求めたのかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。

学習状況調査（児童質問紙より） 一部紹介

() = 全国平均

■ あてはまる □ どちらかといえばあてはまる

1 将来の夢や目標を持っていますか

100 (79.8)

81.8 (60.4)

18.2 (19.4)

2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

90.9 (72.5)

36.4 (27.6)

54.5 (44.9)

3 自分には、よいところがあると思いますか

72.8 (79.3)

36.4 (39.4)

36.4 (39.9)

4 国語の勉強は好きですか

72.8 (59.2)

36.4 (23.4)

36.4 (35.8)

5 算数の勉強は好きですか

63.7 (89.5)

18.2 (36.2)

45.5 (26.3)

国語好きは多いけど算数好きは少ないんだね。

カット

教科の学力調査の他に左のような学習状況調査（児童質問）が行われます。質問項目は70項目以上になります。その中から一部紹介します。

本校の児童は、将来の夢や目標を持っていることや困難なことにチャレンジしようとする気持ちが全国平均より高く、自分自身を高めようとする気持ちがあることが分かります。

一方で、自分の長所を見つけられずにいることも分かります。子どもの達が自信を持って活動できるように認め・価値付けていきたいと思えます。

また、学力については「好き」だから「分かる（出来る）」の好循環につなげていきます。

「いじめは“絶対に”許しません！！」

6月に実施した「いじめアンケート」の結果、本校での認知件数は7件でした。全て担任による聞き取りを行い解消につなげています。いじめの態様では「冷やかし・からかい・悪口」が多く、さらに学年が下がるにつれて訴えも多くなる傾向にあります。本校では「黄金小 いじめ防止基本方針」に基づき「小さいいじめも“絶対に”許さない」を職員で共有し、いじめの防止に努めています。

学校では気付けないこともあると思いますので、子どもの様子に変化を感じた際は教えていただき連携しながらいじめの解消と防止に努めていきたいと思います。

「黄金小 いじめ防止基本方針」【ダイジェスト版】はホームページで確認できます。

いじめの態様		件数
1	冷やかしやからかい、悪口や嫌なことを言われる	4
2	仲間はずれや集団による無視	1
3	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする。	1
4	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする。	0
5	金品をたかられる。	0
6	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたりする。	1
7	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたりする。	0
8	パソコンや携帯電話等で悪口を書かれたり、嫌なことをされたりする。	0
9	それ以外でいじめられている。	0
計		7

「校内夏休み作品展開催中」

カット

子ども達が、夏休み中に頑張って取り組んだ工作・自由研究等の作品展を1階学習室で開催しています。どの作品にも創意工夫の跡が見られ「調べてみたいこと」「興味があること」「あったら便利だな」というものや「作品展への出品を念頭においたもの」など様々な作品が勢揃いしています。コロナ禍での休みだったために制作や作成に苦労したことと思います。今後この中から「考案創作展」「社会科研究物展」「科学展」等へ出品されることとなります。



おめでとう！新記録達成

夏休み前に行われた校内水泳大会で、6年女子児童さんが、50mバタフライで平成30年度氏名さんの記録を更新し、新記録を樹立しました。【記録 36秒1】



9月の主な行事予定

日	曜	関連行事
1	木	学校安全の日 身体測定～6日
2	金	読み聞かせ
3	土	
4	日	
5	月	論語の日 クラブ活動
6	火	
7	水	家庭学習がんばり週間～11日
8	木	
9	金	読み聞かせ 防災訓練
10	土	市学童陸上競技大会
11	日	
12	月	天文教室（4年）
13	火	キャリア教育出前授業（6年）
14	水	ロードマラソン大会
15	木	就学時健診（4校時限）
16	金	読み聞かせ（ロードマラソン予備日）
17	土	金峯少年教室①
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	————— カット —————
21	水	ALT⑤
22	木	やまびこ号
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	クラブ活動 学校集金振替日
27	火	通知表配付①（5校時限）
28	水	通知表配付②（4校時限）
29	木	
30	金	読み聞かせ

きれいな教室で

夏休み前の大掃除週間では教室の床磨き・ワックスがけを行いました。きれいな環境で2学期のスタートです



カット

地区座談会報告②

7月25日付けで地区座談会のお礼と報告を配付〔実家庭〕しましたが、「図書袋の持ち帰り」については検討事案となっていました。検討の結果、次のように行います。

【ご意見】

毎日、本を持ち帰り読書することになっているが、荷物が重いので検討して欲しい。

【回答】

週末（休み前）は必ず持ち帰ることにする。平日については荷物の量等により担任が適切に判断し声掛けを行い、児童の荷物負担の軽減に努める。

⇒小学校時代に子どもが本に親しむことを学校ではとても大事にしています。読書活動は創造力や感性を磨き、語彙力や読解力も鍛えられます。学校と家庭で子どもの読書体験をサポートしていきましょう。